

漁海況情報第10報 (2017年1月23日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

宮城県沿岸の142° 10' E以西の水温は表面は9~12℃台, 100m深水温は10℃台となっており, いずれも概ね平年並となっている。

宮城県沿岸の表面水温は, 9~12℃台となっており, 概ね平年並となっています。38° Nラインの141° 30' E付近では北上暖水の波及が見られます。100m深水温は10℃台となっており, 概ね平年並となっています [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

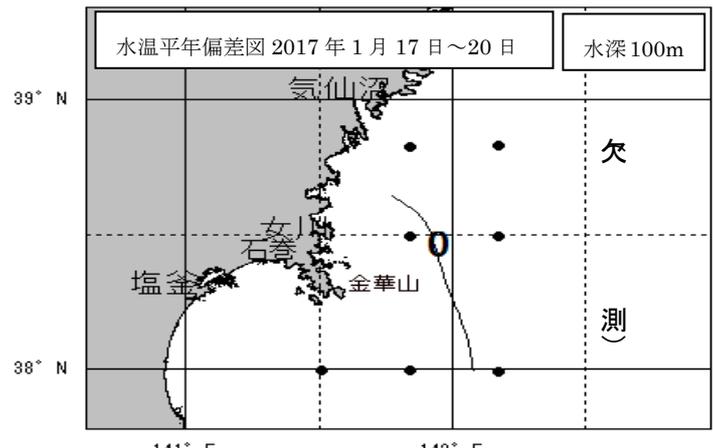
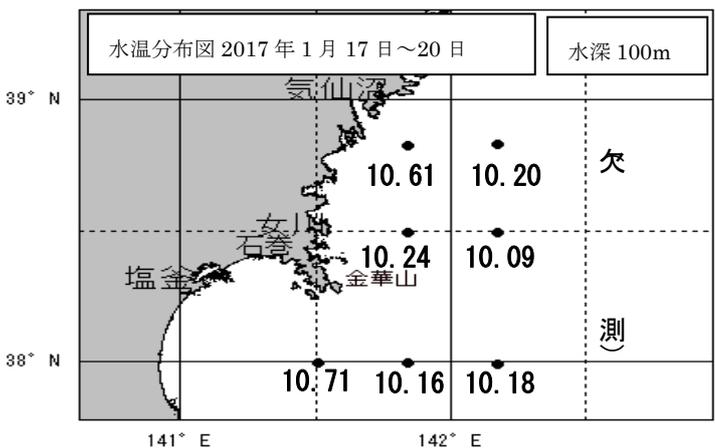
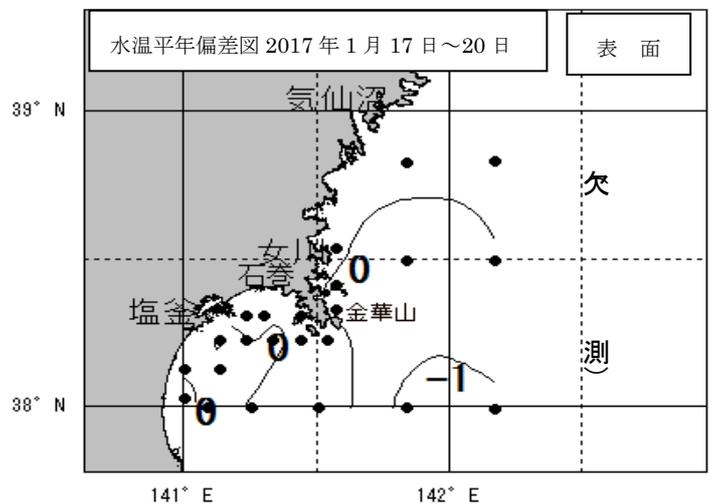
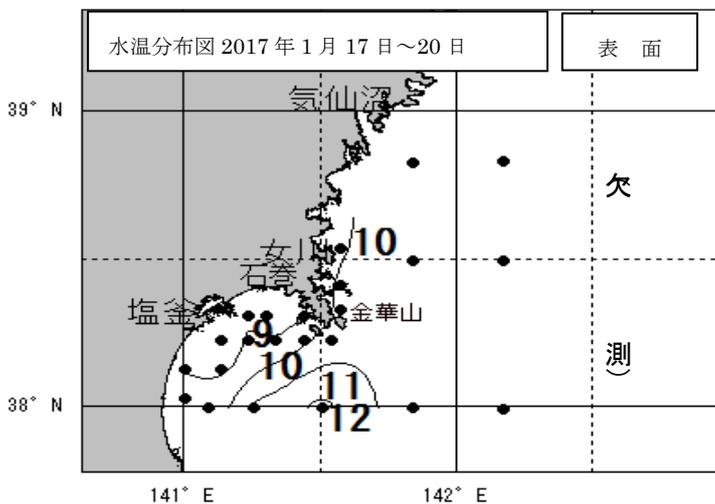
水温鉛直断面図をみると, 各ラインとも表面が冷やされて鉛直混合が進み, 表層から200m深までの水温が10℃台となっています [P2.水温鉛直断面図]。

(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると, 親潮第2分枝は強勢で宮城県以北60海里より沖合で10℃以下の冷水域が拡大しています。一方, 北上暖水が福島県沿岸まで波及しており, 本県南部に近づいています [P2.東北海域の海況図:(一社) 漁業情報サービスセンター]。

1月中旬の定地水温は4~11℃台となっています。平年値との比較では, 気仙沼, 江島はいずれも平年並, 田代島, 佐須浜はやや高めとなっています(亘理はブイの不具合により8月3日から観測を休止しています) [P3.定地海洋観測結果]。海底直上水温は, 9~11℃台となっており, 前年同期より低くなっています [P3.海底直上水温図]。

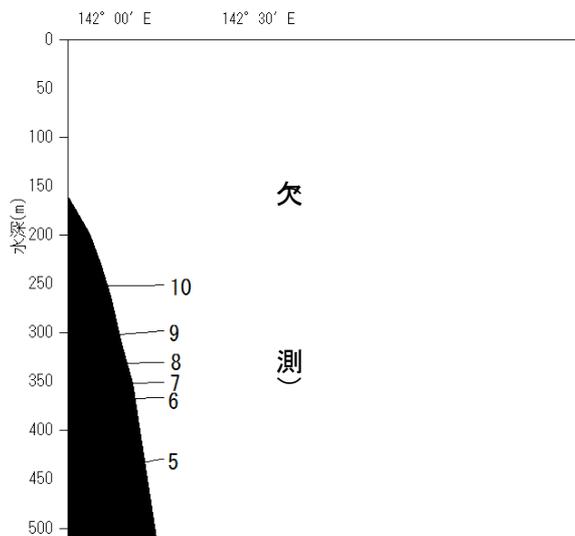
・水温水平分布図

・水温平年偏差図(現在水温と平年水温との差)

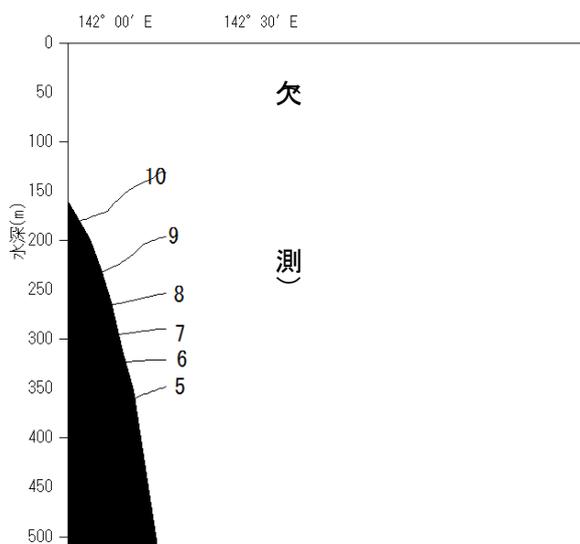


・水温鉛直断面図

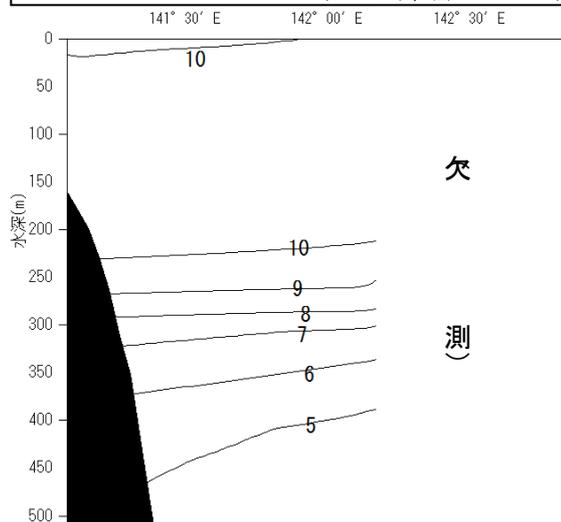
38° 50' N ライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' N ライン (雄勝沖合ライン)

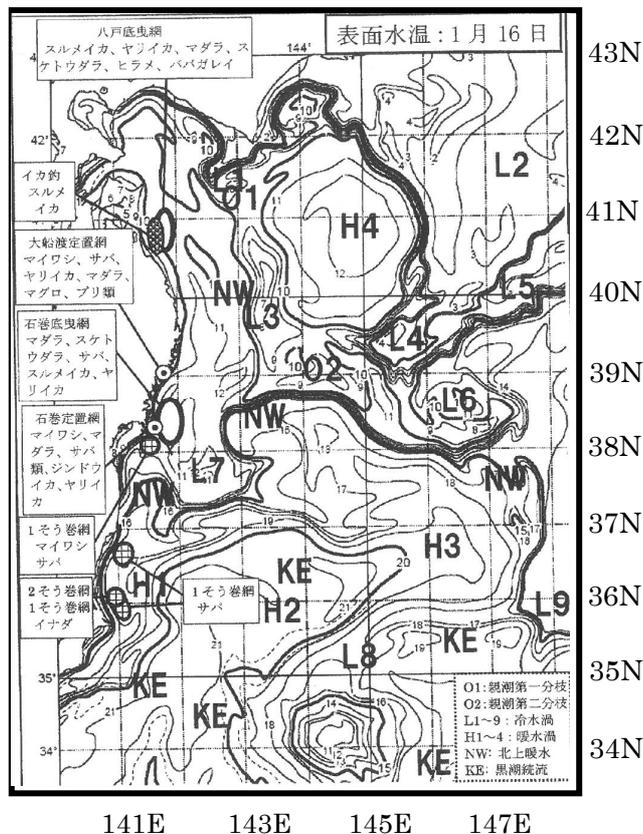


38° 00' N ライン (亶理沖合ライン)



2017年1月16日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

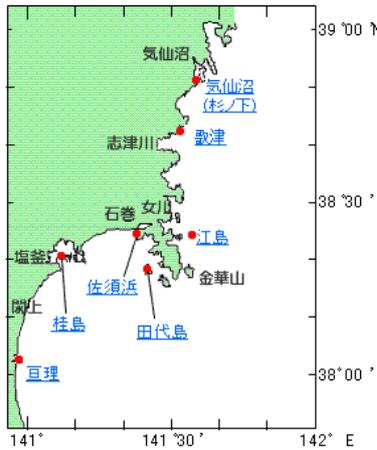
【海況】(1月16日表面水温)

- ・親潮第一分枝 (O1) の南下と第二分枝 (O2) の強力な西進により、宮城以北 60 海里沖合で 10°C 以下の冷水域が拡大。
- ・沿岸は三陸を中心に降温し下北～仙台湾の距離 5～10 海里以内で 9°C 台、沖合 60 海里まで 10～11°C 台が分布。
- ・黒潮 (KE:19～21°C 台) は犬吠埼沖 40 海里を北北東へ進み、茨城沖を東進。
- ・暖水 (15～18°C 台) が鹿島灘を北上し福島沖に達し、13～15°C 台の潮境を形成。
- ・福島～鹿島灘～九十九里は 15～17°C 台。

【漁況】(1月11～16日)

- ・まき網: 1 そうまき網は鹿島灘を主漁場にサバ, 10,000t 程度, 鹿島灘でイナダ, 仙台湾沖でマイワシ 450t を漁獲。2 そうまき網は犬吠埼沖でサバ, 鹿島灘でイナダを漁獲。
- ・定置網: 大船渡, 女川, 石巻がマイワシ小羽を継続水揚げ。石巻はマダラが増加。大船渡はサバ, マダラ, ヤリイカ, マグロなどを水揚。
- ・スルメイカ: 青森の釣りは低調だが, 底曳網は継続水揚。石巻の底曳網はスルメイカが減少するもヤリイカの水揚継続。

・定地海洋観測



観測点	1月中旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	8.8℃	平年並	-0.1℃	-0.7℃
歌津	11.0℃	-	-	-
江島	11.2℃	平年並	0.2℃	-0.4℃
田代島	10.1℃	やや高め	0.8℃	-0.3℃
佐須浜	8.6℃	やや高め	1.2℃	-0.1℃
桂島	4.9℃	-	-	-0.2℃
巨理	-℃	-	-	-

※巨理は自動観測装置による観測を中断しています。
 ※平年差
 岩井崎 (30年)
 江島 (30年)
 佐須浜 (10年)
 歌津 (平成28年12月から観測再開)
 桂島 (平成24年3月から観測開始)
 巨理 (平成24年10月から観測開始)

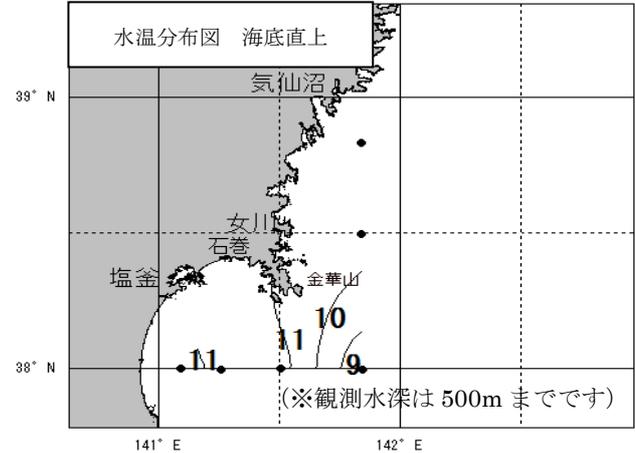
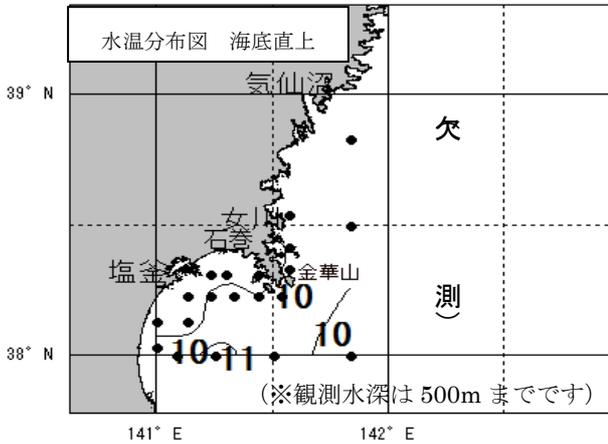
※最新の定地海洋観測結果は、

[「http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201503suion-index.html」](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201503suion-index.html)でも公開中です。

・海底直上水温図

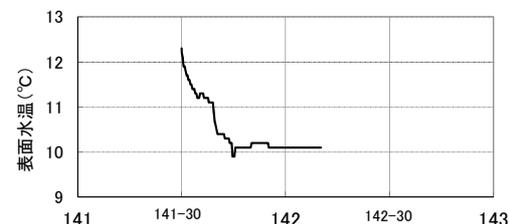
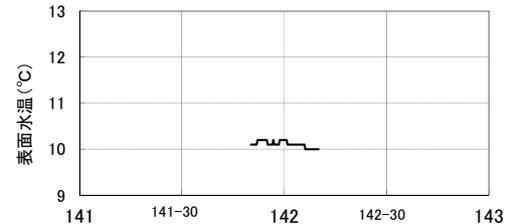
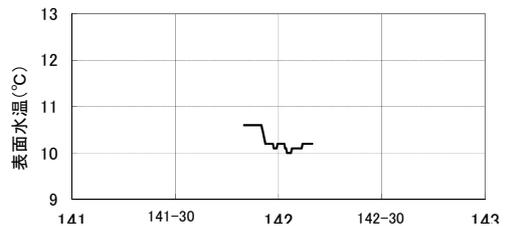
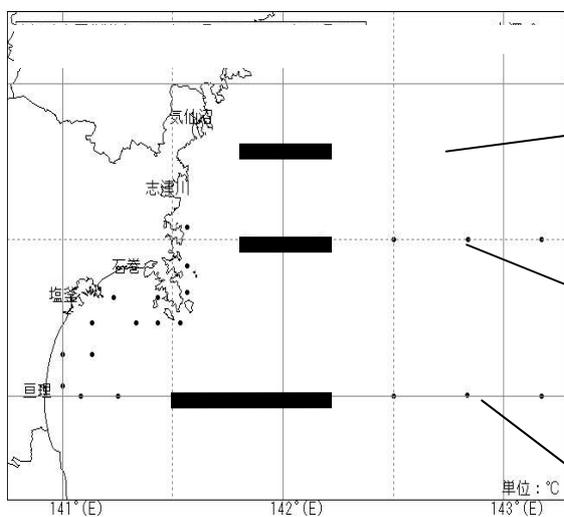
・海底直上水温(2017年1月17日～20日)

・海底直上水温(2016年1月13日～15日)



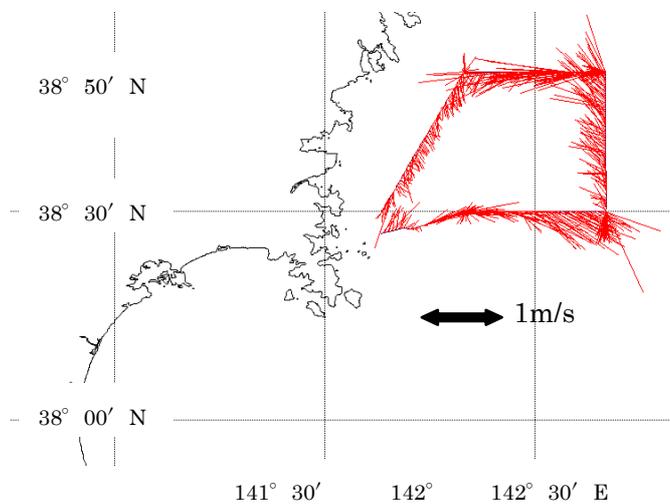
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。

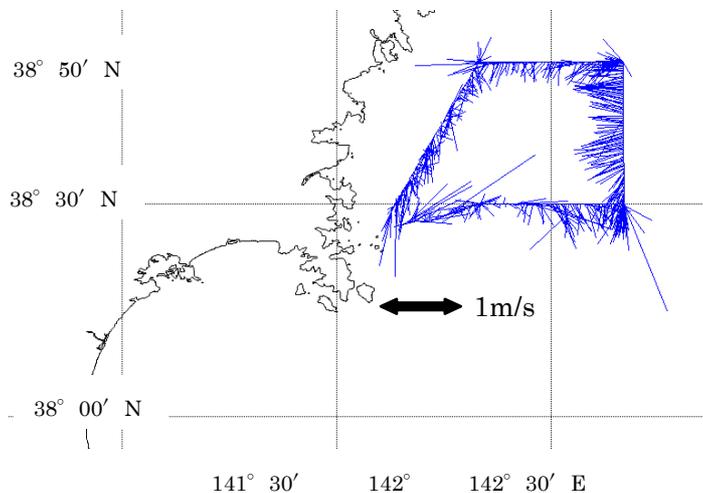


3. 流向流速情報

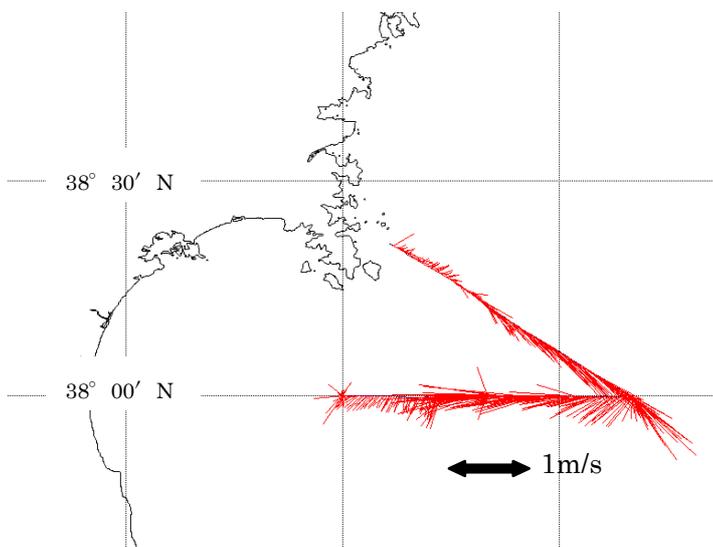
みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



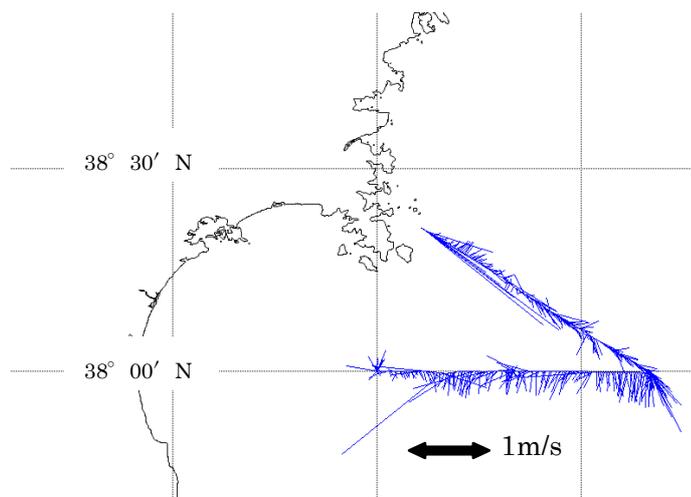
水深 50m(1月18日)



水深 100m(1月18日)



水深 50m(1月20日)



水深 100m(1月20日)

※潮汐成分は除去されておられません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

平成28年12月の水揚量を見ると、昨年同月比でクロマグロ、メバチ、ヤリイカ、ヒラメ、マガレイ等の増加が目立ちます。一方、カタクチイワシ、マアジ、スルメイカ、マダラ、スケトウダラ、シロサケ等の減少が目立ちます。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成28年12月1日~12月31日)

	単位:トン											
	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網 全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	前年同月比
ピンナガ									374	14	388	100%
クロマグロ(メジ含む)						1			1	18	20	251%
メバチマグロ(ダルマ含む)									78	34	112	162%
マイワシ	0	0	1,707			2,771				25	4,504	98%
カタクチイワシ						155				23	178	64%
サバ類	394	8	13,562			160	10			7	14,141	102%
サンマ				658		0				0	658	-
ブリ	3	0	1,088			14	9			56	1,171	85%
マアジ	1	1	0			16	0			0	17	56%
サワラ	0	0	0			1	2		0	0	4	95%
スルメイカ	373	0	0			1		0		0	375	43%
ヤリイカ	211	23	2			12		1			248	162%
マダラ	82	2				4	4		5	73	169	24%
スケトウダラ	93	1				0	1		1	2	99	61%
キチジ	2									1	2	80%
ヒラメ	12	38				5	16			4	74	149%
マコガレイ	2	30				1	18		0	10	61	104%
マガレイ		5						3		0	9	136%
シロサケ	0					81	2			21	104	79%
ガザミ	0	4					13			2	19	55%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

5. 大型クラゲ情報

(一社)漁業情報サービスセンターによると(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>), 12月以降は出現の情報はありません。本県において今シーズンの来遊は今のところ確認されておらず、漁業への被害はありませんでした。今後も出現は無いものと考えられることから、今回を持って今シーズンの大型クラゲ情報は終了します。

6. 調査船運航計画

みやしお	
1月26日 ~ 1月27日	イカナゴ仔魚ボンゴネット調査
開洋	
1月25日 ~ 1月26日	マコガレイ産卵場調査